

平成28年度 帯広第七中学校 教職員自己評価 (学年末結果)

項目	番号	評価項目		
経営	1	経営の基本方針は本校の教育目標を踏まえ、学校や生徒の実態に合ったものになっている。	3.38	
	2	教育目標や経営方針の具現化を目指し、全教職員が共通理解のもと、連携して学校経営を行っている。	3.23	
学習指導	教科指導	3	教育課程は生徒や地域の実態に応じて編成され、学校評価や各種調査を基に改善・充実を図っている。	3.46
		4	ICTを積極的に活用するなど生徒の実態や学習意欲を考慮し、指導方法や指導形態の工夫・改善を図っている。	3.23
	道徳	5	教育課程全体を通して道徳的判断力、道徳的心情や道徳の実践意欲と態度を育成している。	3.46
		6	道徳の教科化に向けて教職員個々の資質・能力の向上や、全教職員で道徳を実践する体制づくりが進んでいる。	3.46
	特別活動	7	学級経営案に基づく実践を行い、適時に改善していくことにより望ましい学級づくりに取り組んでいる。	3.38
		8	学校行事や生徒会行事は計画的に実施されており、次に向けて改善・充実が図られている。	3.77
	総合	9	計画に基づいた学習内容に対して、学習目標を明確にして適切な指導を行っている。	3.69
		10	地域の教育資源や外部人材を積極的に活用している。	3.38
	生徒指導	11	生徒指導体制や教育相談体制が整備され、問題行動等の早期発見・対応、情報の共有化が図られている。	3.08
		12	基本的な生活習慣の確立に向け、教職員の共通理解のもと生徒への指導を行っている。	3.31
進路指導	13	勤労観・職業観を身に付けさせる等、主体的に進路を選択する能力・態度を育成する指導が行われている。	3.46	
安全指導	14	学校安全計画・危機管理マニュアル等を適宜見直し実効性のあるものになっている。	3.31	
	15	生徒の安全対応能力の向上を図るため、避難訓練や安全教育を計画的に実施している。	3.54	
保健指導	16	学校保健計画が適宜見直され、保健指導が適切に実施されている。	3.62	
	17	生徒の日々の健康状態を把握するなど、心と体のケアの体制が整備され、健康相談活動等が実施されている。	3.69	
特別支援教育	18	校内委員会、特別支援教育コーディネーター、校内研修等の校内支援体制が機能している。	3.23	
	19	特別支援学級の生徒が通常の学級で学ぶ機会を確保するための交流及び共同学習を実施している。	3.62	
研修	20	校内研修の実施体制が整備され、計画的・効果的に行われている。	3.31	
家庭、地域との連携	21	生徒の健全育成のために情報を積極的に発信するなど、PTAや地域の関連機関との連携が緊密に図られている。	3.54	
	22	小学校や高等学校との校種間連携の機会を活用して、教育活動全般に生かしている。	3.31	
施設設備	23	日常的・定期的な点検・管理を行っている。	3.46	
環境美化	24	校内の清掃指導や環境美化の維持に取り組んでいる。	3.77	
服 務	25	休暇届、外勤届、校外研修届等の取扱いは、適切に行われている。	3.69	
	26	Kー交通違反・事故防止 Tー体罰防止 Sーセクハラ防止 Bー暴言防止に取り組むとともに個人情報適切に管理する 公費・私費について、帳簿や領収書等を管理し、監査・承認等を適切に行っている。	3.77	
経 理	27	公費・私費について、帳簿や領収書等を管理し、監査・承認等を適切に行っている。	3.77	

